新人看護職員研修年間計画

	入職時～数日間	4-6月
研修目標	① 下呂市立金山病院の組織の一員としての心構えができる。 看護師として倫理に基づいた行動ができる ② 基本的看護の知識・技術・態度を習得することができる。 ③ 当院における医療安全管理体制について理解することができる。	① 部署の環境に適応し、主体的に自己の目標に向かって行動できる。 精神的安定を図ることができる。 ② 到達目標にあがっている看護技術が実施できる。 ③ 情報収集方法を習得し、患者の状態を把握する事ができる。 業務上の報告・連絡・相談を適切に行うことができる。
基本的な進行	・下呂温泉病院集合研修に参加する。 ・OJT:ケア見学・一部参加する。 ・日勤のみ、定時に業務終了する。	・病棟になれることが出来る。 ・フリー業務を指導を受けながら行うことが出来る。 受持ちを前半2~3名。後半3-5名持つ。 ・5月中にポートフォリオシートを完成させる。

研修項目		内　　容	日　時	担　当	開催場所	方　法	評価日	評価方法	内　　容	日　時	担　当	開催場所	方　法	評価日	評価方法
看護職員として必要な基本姿勢と態度 到達目標 ①		□研修オリエンテーション	4/1 1h	現任師長	看護部室	講　義	年度末	面	□岐阜県看護協会新人研修	5/1 6h	協　会	協会会館	講　義	5月末	R
		□病院概要　□公務員としての心得	4/1 1h	事務局長	会議室	講　義			□家族との関わり方	4/14 1h	プリセプター	相談室	講　義	年度末	面
		□看護部概要　□看護部理念　□看護倫理　□主体的な自己学習について	4/1 1h	看護部長	看護部室	講　義									
		□接遇　□職業倫理	4/2 1.5h	広　報	下呂温泉病院	講　義									
技術的側面 到達目標 ②	環境調整技術	□環境整備見学	4/7 3h	プリセプター	病　棟	見　学	4月末	R ・ C	□ベッド周囲の環境整備　□ベッドメーキング	4/13 1h	プリセプター	病棟	講義・実施	4月末	R ・ C
									□療養生活環境調整						
	食事援助技術	□病院食の理解　□栄養アセスメント	4/7 2.5h	管理栄養士	相談室	講　義	年度末	R・面・C	□経管栄養法	4/9 1h	現　任	療養病棟	講義・見学	7月末	R・面・C
		□摂食嚥下障害アセスメント　□摂食嚥下障害者の看護（口腔ケア）	4/8 2.5h	摂食嚥下認定Ns	下呂温泉病院	講　義			□胃瘻栄養	4/15 1h	プリセプター	病　棟	講義・見学		
									□食事介助	4/13 1h	プリセプター	病　棟	見　学	4月末	
									□嚥下障害のある患者の食事介助	4/21 1h	プリセプター	病　棟	講義・見学	6月末	
	排泄援助技術								□便器・尿器介助　□自然排尿・排便介助	4/9 1h	プリセプター	病棟	講義・見学	4月末	R ・ C
									□オムツ交換						
									□テレミン挿肛	4/20 1h	プリセプター	病棟	講義・見学	6月末	R ・ C
									□浣腸						
									□導尿　□膀胱内留置カテーテルの挿入と管理	5/11 1h	プリセプター	病棟	講義・見学	7月末	
	活動休息援助技術	□ボディメカニクス（体位変換・移乗・移動）	4/8 2h	脳卒中認定Ns	下呂温泉病院	講　義	年度末	R・面・C	□ボディメカニクス（体位変換・移乗・移動）	4/16 2h	脳卒中認定Ns	下呂温泉病院	講義・演習	年度末	R・面・C
									□抑制方法（四肢・体幹）	4/16 0.5h	アルケア	下呂温泉病院	講　義	6月末	
									□歩行の介助　□車椅子移送　□ストレッチャー移送	4/9 1h	プリセプター	病　棟	講義・演習	6月末	
	苦痛の緩和・安楽確保の技術								□ポジショニング	4/13 1h	プリセプター	相談室	ビデオ学習	年度末	R・面・C
									□安楽な体位（ポジショニング）	6/10 1h	褥瘡委員	保険センター	講義・演習	年度末	
									□電法	5/13 1h	プリセプター	病　棟	講義・実施	4月末	R・C
	清潔・衣生活　援助技術	□清拭見学	4/7 3h	プリセプター	病　棟	見　学	4月末	R ・ C	□清拭　□洗髪　□マウスケア　□部分浴	4/13 3h	プリセプター	病棟	講義・実習	4月末	R・面・C
									□入浴介助						
									□シーツ交換　□寝衣交換　□整容						
	呼吸環境を整える技術								□吸引	4/9 1h	現任	療養病棟	講義・見学	6月末	R・面・C
									□ネブライザー吸入	4/9 1h				6月末	R・面・C
									□酸素吸入療法　□ネブライザーの管理	4/10 1h	ＭＥ	ＭＥ室	講　義	6月末	R・面・C
	創傷管理技術	□褥瘡の基礎　□予防的スキンケア	4/2 1h	皮膚排泄ケア認定Ns	下呂温泉病院	講　義	年度末	R・面・C	□静脈血栓予防技術　□圧迫療法の役割	4/10 1h	皮膚排泄ケア	下呂温泉病院	講　義	年度末	R・面・C
			4/6 1h						□褥瘡回診見学	4/17 1h	褥瘡委員	療養病棟	見　学		
			4/8 1h												
	与薬の技術								□経口与薬	4/13 1h	プリセプター	病　棟	講義・実施	4月末	R・面・C
									□外用薬与薬　□直腸内与薬	5/11 1h	プリセプター	病　棟	講義・実施	6月末	R・面・C
									□注射技術（皮内・皮下・筋肉・静脈・静脈内点滴・中心静脈注射）	4/16 3.5h	プリセプター	病　棟	講　義	7月末	R・面・C
									□点滴の準備（薬剤の溶解・混注・セット）	4/17 1h	プリセプター	病　棟	講義・演習	7月末	R・面・C
									□輸液ポンプの管理（セットの交換）	4/17 0.5h	プリセプター	病　棟	講義・実習	7月末	R・面・C
	救命救急・処置技術								□気管内挿管について	4/13 1h	プリセプター	相談室	ビデオ学習	9月末	R・面・C
									□気管内挿管について	4/17 1h	現任教育	中　材	講　義		
	症状・生体機能管理技術								□バイタルサインの観察と解釈　□身体計測　□パルスオキシメター	4/9 1h	プリセプター	病　棟	講義・実習	4月末	R・面・C
									□採尿	4/13 1h	プリセプター	病　棟	講義・見学	4月末	R・面・C
									□静脈血採血　□血糖測定	4/13 1h	プリセプター	病　棟	講義・演習	6月末	R・面・C
									□献体の取り扱い・保存　□静脈血採血時の注意点	4/9 1h	検査技師	検査科	講　義	6月末	R・面・C
									□12誘導心電図	4/13 1h	検査技師	検査科	講　義	6月末	R・面・C
									□輸血検査	4/14 1h	検査技師	検査科	講　義	9月末	R・面・C
	感染予防技術	□標準予防策	4/2 1h	感染認定Ns	下呂温泉病院	講　義	6月末	R・面・C	□防護用具	5/10 1h	プリセプター	病　棟	講義・演習	6月末	R ・ C
		□感染経路部右予防策	4/6 1h						□中材業務（洗浄・消毒・滅菌）　□無菌操作	4/17 1h	現任教育	中　材	講義・見学	6月末	R・面・C
		□職業感染対策	4/8 1h						□医療廃棄物の処理	6/11 1h	プリセプター	病　棟	講義・見学	6月末	R・面・C
	安全確保の技術	□放射線機器の説明	4/7 1h	放射線技師	看護部室	講　義	6月末	R ・ C	□誤薬防止手順に沿った与薬　□患者誤認防止策　□転倒転落防止	4/14 1h	医療安全	相談室	講　義	4月末	R・面・C
									□薬剤爆露防止	4/14 1h	薬剤師	相談室	講　義		
									□放射線暴露防止	4/10 1h	放射線技師	放射線科	講　義		
	死亡時のケアに関する技術														
管理的側面 到達目標 ③	安全管理	□医療安全体制　□インシデント報告	4/6 1h	医療安全	下呂温泉病院	講　義	6月末	R・面・C	□与薬時の安全　□輸液ポンプ・シリンジポンプ安全対策	4/10 2h	医療安全	下呂温泉病院	講　義	7月末	R・面・C
			4/3 1h	医療安全	相談室	講　義									
	情報管理	□医療情報規定・プライバシー保護	4/1 1h	システム管理	看護部室	講　義	6月末	R ・面	□個人情報保護（当院の規定・記録物の取り扱い・注意事項）	6/16 2h	事務課他	保険センター	講　演	6月末	R
		□看護記録　□オーダリングシステム（基本操作）	4/3 4h	病棟Ns	相談室	講　義	6月末	C							
	業務管理	□看護基準・看護手順に沿った業務	4/3 1h	病棟師長	相談室	講　義	6月末	R・面							
		□報告・連絡・相談をきせつに行う	4/1 1h	看護部長	看護部室	講　義									
	薬剤等管理								□薬剤の管理（麻薬・毒薬・劇薬）	4/9 1h	薬剤師	相談室	講義	9月末	R・面・C
									□薬剤の取り扱い（請求・受領・保管）						
									□安全と糖尿病薬	4/21 1h					
									□血液製剤の取り扱い（請求・受領・保管）	4/23 1h					
	災害・防災管理	□災害発生時について（緊急連絡網）	4/3 1h	病棟師長	相談室	講　義	4月末	R ・面							
	物品管理	□SPDについて	4/6 1h	プリセプター	物品倉庫	講　義	9月末	R ・面	□医療機器の取り扱い	4/13 1h	ＭＥ	ＭＥ室	講　義	4月末	R ・面
									□看護用品・衛生材料管理	4/14 1h	プリセプター	病　棟	講　義	4月末	R ・面
	コスト管理	□診療報酬について	4/1 1h	事務職	会議室	講　義	年度末	R ・面							

	7-9月	10-3月
研修目標	① 組織・チーム一員として行動することができる。 ② 到達目標にあがっている看護技術が実施できる。 ③ 複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動することができる。	① 職業人として自覚を持ち、倫理に基づいて行動できる。 ② 患者の病態をアセスメントし、看護計画に基づき看護を考えることができる。 来経験の看護技術が習得できる。 ③ チーム医療における自らの役割を認識し実施できる。 （全体） 1年間を振り返り、来年の目標と計画を明確にできる。
基本的な進行	・基本技術の取得状況に合わせ、受け持ちの数や重症度をあげていく。(プリセプターのフォローのもと) ・7月ごろより夜勤開始。必ずプリセプターがフォローする(夜勤4名体制) ・同僚や他の医療従事者とコミュニケーションをとる	・ひとり立ち。ただし来修得の技術は確認しながら行う。 ・受け持ち患者の看護の展開ができる(3月ケースレポートのまとめ) 《課題》私の看護観～1年を振り返って～

研修項目		内　　容	日　時	担　当	開催場所	方　法	評価日	評価方法	内　　容	日　時	担　当	開催場所	方　法	評価日	評価方法
看護職員として必要な基本姿勢と態度 到達目標 ①		□チーム医療について	7/14 1h	病棟師長	相談室	講　義	9月末	R・面							
技術的側面 到達目標②	環境調整技術														
	食事援助技術														
	排泄援助技術	□摘便	9月中旬	プリセプター	病　棟	講義・見学	9月末	R・面・C							
		□ストーマケア	7/31 1h	褥瘡委員	会議室	講義・演習	9月末	R・面・C							
	活動休息援助技術	□体位変換（活動に制限のある患者の介助）	7/2 1h	プリセプター	病　棟	講義・実施	9月末	R・面・C	□廃用症候群予防・関節可動域訓練	11月上旬	理学療法士	病　棟	講義・演習	年度末	R・面・C
		□移動・移乗（活動に制限のある患者の介助）							□入眠・睡眠への援助	9月中旬	プリセプター	病　棟	講　義	年度末	R・面・C
	苦痛の緩和・安楽確保の技術														
	清潔・衣生活　援助技術														
	呼吸環境を整える技術	□体温調整	7/24 1h	プリセプター	病　棟	講義・実施	9月末	R・面・C	□人工呼吸器管理	10月下旬	M　E	病　棟	講義・見学	年度末	R・面・C
									□体位ドレナージ	10月上旬	プリセプター	病　棟	講義・見学	年度末	R・面・C
	創傷管理技術	□創傷処置（術後患者）	7/13 1h	プリセプター	病　棟	講義・見学	9月末	R・面・C	□包帯法		外来 Ns	外　来	見　学	年度末	R・面・C
	与薬の技術	□中心静脈内注射の準備・介助・管理	9月下旬	プリセプター	病　棟	講義・演習	12月末	R・面・C							
		□輸血の準備・観察	9月下旬	プリセプター	病　棟	講義・演習	12月末	R・面・C							
	救命救急・処置技術	□チームメンバーへの応援要請	9月下旬	プリセプター	病　棟	講　義	9月末	R・面・C	□気道確保	12月上旬	院長	外来 or 手術室	講義・演習	年度末	R・面・C
		□急変時の流れと対応	9月下旬	プリセプター	病　棟	講　義	9月末	R・面・C	□人工呼吸						
		□意識レベルの把握	7/14 1h	プリセプター	病　棟	講　義	9月末	R・面・C	□閉鎖式心臓マッサージ						
									□気管挿管の準備と介助						
									□外傷性の止血						
	症状・生体機能管理技術	□動脈血採血の準備と検体のの取り扱い	7/15 1h	プリセプター	病　棟	講義・見学	9月末	R・面・C							
		□心電図モニターの装着・管理	7/14 1h	プリセプター	病　棟	講義・演習	9月末	R・面・C							
	感染予防技術														
	安全確保の技術	□転倒転落防止策の実施	9月上旬	プリセプター	病　棟	講義・見学	9月末	R・面・C							
	死亡時のケアに関する技術								□死後の処置	12月上旬	プリセプター	病　棟	講義・実施	年度末	R・面・C
管理的側面 到達目標③	安全管理														
	情報管理														
	業務管理	□看護ケア優先度（複数の患者を受け持ったとき）	9月上旬	プリセプター	病　棟	講義・見学	9月末	R・面・C							
	薬剤等管理	□抗菌薬・抗ウィルス薬について	9月下旬	薬剤師	相談室	講　義	10月末	R・面							
	災害・防災管理	□施設の消防・消火設備　□消火器・消火栓の使用方法　□避難経路	9/28 2h	消防署	病　棟	講　義	9月末	面							
		□防火訓練　□防災訓練			病　棟	演　習									
	物品管理														
	コスト管理														